

みなかみ通信

2015年1月 NO. 1

第20回労働大学まなぶ友の会
全国交流集会現地実行委員会

発行責任者：齋藤 清 編集者：清水保美

<日程>

2015年7月4日(土)13時から
5日(日)12時まで

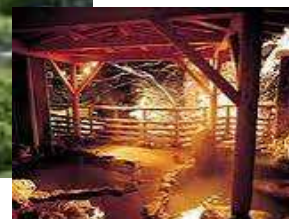
<会場>

群馬県利根郡みなかみ町小日向573

ホテル水上館 0278-72-3221



水上館全景



露天風呂

全国250名、関東115名の参加をかちとろう！

現地実行委員長 齋藤 清

全国交流集会水上温泉開催は第11回に続き2回目です。現地実行委員会の確認で「全国250名、関東ブロック115名の参加を確認しています。まなぶ友の会の会員年齢が高齢化していますが「いかに若い仲間に参加を呼び掛けるか！」が大きな課題です。

各ブロック・各県協は課題と目標を明らかにして取組みを強化しなければと考えています。

水上集会は2回目の開催ですが、前回の総括に基づき現地実行委員会を取組みを進めています。

関東ブロック115名の参加目標は全国参加者目標の半数近くです。関東ブロック各県協は「地元関東各県協が目標を持ち、いかに目標に近づけるか！」と議論を深めています。目標に近づけるのは「まなぶ読者・会員と家族ぐるみの参加」です。不可能ではありません。いかに目標を達成するかは、取組み次第です。

とりわけ、水上温泉は2回目の開催ですので群馬県協は「家族ぐるみ」で参加しようと話し合いを進めています。

全国交流集会は友の会運動の中間総括の場です。全国の仲間が中間総括を持ち寄り、お互

いに学び合える集会にしていきたいと思います。

①まなぶ誌の拡大・②第一学習会の強化、発展・③友の会員の拡大・④個人方針の確立、を全国の仲間から学び、友の会運動の前進を勝ち取りたいと考えています。

全国各地から結集する「まなぶの仲間」の皆様のお越しをお待ちしています。

現地実行委員会体制

実行委員長	齋藤 清 (関東幹事会代表)
副実行委員長	丸山 和彦 (山梨県協会長)
	高田 信雄 (埼玉県協会長)
	海野 貢 (茨城県協会長)
	林 成行 (千葉県協会長)
事務局長	清水 保美 (群馬県協事務局長)
事務局次長	小林 精一 (関東幹事会事務局長)
	三宅 敏之 (茨城県協事務局長)
	大泉 喜勇 (千葉県協事務局長)
	小田切 博 (山梨県協事務局長)

関東ブロック・各県協の決意

群馬県協

群馬の素晴らしさを全国に

「関東での開催となれば群馬でしょう。交通の便はいいし風光明媚で温泉がいい。」ということで今回で2回目の受け入れになりました。とはいうものの実は群馬県の印象は茨城県とワースト1を争っている印象の薄い県なのです。地元民は何とか挽回したいと思っています。今回はいい機会を与えられたと県協四役は気合を入れて受け入れ態勢を整え、会員は増えていませんが、参加者30名を目標に頑張っています。

千葉県協

労働者の階級的団結をめざし

労大まなぶの会則では、目的として「科学的社会主義思想を身につけた活動家を作り出し、社会主義運動、労働組合運動の前進に寄与する」となっている。千葉県協は「社会主義運動の裾野を広げる運動」と位置付けて、世話役運動から信頼関係、人間関係作りの具体的な実践活動を通じ、話し合いの場を作り、大衆学習運動に取り組んで行こうと提起している。昨年の千葉県協総会でも多くの補強意見が出された。社会を変えるには、社会主義社会を目指す組織が大きくならなければならない。私達の任務は、新社会党、労働組合の階級的強化と思想的団結ということである。原点に戻り社会主義の学習をしていき、今年は2ヶ月ごとに運営委員会を開催し、中心に友の会運動の強化をしていく決意である。

埼玉県協

50名の参加を！

水上温泉で開催される第20回全国交流集会の成功に向け、全国で苦闘し奮闘を続ける仲間達と交流し学ぶ為、参加目標を50名以上として、内外の五人組運動、家族ぐるみを中心に、各友の会、東西南班で具体的方針を持つ

て、目的意識的組織的に取り組む事を意思統一しました。それは単に全国交流だけに留まらず、担い手の高齢化、減少が進む中でどう次代の担い手を作っていくのか、どう若者を組織していくのかという、通年の課題でもあり、この取組みを通して「月刊まなぶ」の拡大、担い手作りの条件を広げ、昨年12月を持って県協専従を終了した高原県協専従の次の県協専従づくりに繋がりたいと思います。

山梨県協

「肝っ玉おっかあ」の分までがんばるゾー

前回の関東ブロック担当は、第16回石和全国交流集会でした。当時、関東では群馬県協と山梨県協を重点県協として取り組んでおり、一歩前へ出るためにも山梨で開催しよう決意しました。14名の参加者でした。

あれから4年、十分な成果は出ていませんが、会員一人ひとりは大衆学習運動の前進に向けて頑張っています。全国交流会常連の「肝っ玉おっかあ」(長坂みどりさん)は、昨年10月急逝しさびしい限りですが、彼女の分までがんばるゾー。

茨城県協

関東ブロックの一員として

今年の全国交流集会は迎えて20回目。節目の集会になります。茨城県協も年々高齢化が進み、ほとんどの会員が契約社員や年金受給者になっています。職場を離れたり週3~4日勤務でこだわりも希薄になりがちです。そう言う現状を踏まえながら今年も、健康・仕事・家族を中心に第一学習会やまなぶ学習会の定期開催、相互討論、メモ化の中で追求して行ければと思っています。そして中間総括の場である今年の全国交流集会は同じ関東開催なので、今から仲間への集会参加の働きかけを意識して取組んで行きたいと新年の“決意”とします。